

J R E L 仙 台 組 織 部 情 報

J R 東労働組合仙台地方本部組織部

2020年 5月14日

発行責任者 大越 和人

NO. 13

特集

新型コロナウイルス

これまでの対応・経過を少し振り返ります

オリンピック・パラリンピック延期決定から一転、
「緊急事態宣言」以降、感染者数が急増、「自粛要請」に従わないと悪もの?!

安倍首相も小池都知事も東京オリンピック・パラリンピック開催を目指していた当初は「延期も中止も無い」「何とか持ちこたえている」と強気でした。しかし3月24日延期が決まると180度転換、「自粛要請」「今日の感染者数」が毎日報道され「自粛」一色になりました。学校休校に加えて企業もテレワークや休業に、街から人影が減る映像が流され、少しでも「三密」が見受けられると槍玉に挙げられ、感染することが「悪」かのような風潮になりました。

しかし現実にはこれまでお伝えしてきたように感染ルートとしては「接触感染」がほとんどで手洗いとアルコール消毒、「飛沫感染」はマスク、「空気感染」(ほぼありませんが)は換気で感染を防げることがわかってきています。

本当の感染の実態がわからない?

「緊急事態宣言」からPCR検査急増も、それ以降は?

感染者数を見ると「緊急事態宣言」が決まった4月7日以降、4月15日までのPCR検査数は平均すると1日5340件、それ以前の4日間の平均2915件よりかなり増えています。その結果、日々の感染者数は約300人~500人と発表されていますが、これは感染状況が悪化した訳ではなく、検査数を増やしたのに比例しているという事が言えるのではないのでしょうか。

それでも国内のPCR検査数は安倍首相が明言していた「一日2万人以上」にはほど遠く、海外からも日本の対応に苦言が出されています。他国にはできて日本にはできない理由があるのでしょうか?

数字に踊らされることなく、過剰な自粛モードにも陥らない!

正しいデータと正しい知識を基に仲間と家族と会話しましょう!

今月に入り感染者数が減少傾向と報道されています。ほぼ毎日報道される東京都の現状を見てみるとPCR検査そのものが100人前後と少なく感染者数も少ないことが分かります(厚労省HPより)。検査を求める人が減っているのでしょうか。報道される数字の裏には大事なことが隠されていることがあります。これからも事実に基づいた情報を基に仲間と家族で話して行きましょう!

是非、みなさんからの情報も教えてください!